

コロナウィルス感染防止対策実施方策

令和4年1月5日作成
高崎オリエンテーリングクラブ

1. 準備段階での役員感染予防対策について

- ① 作業当日は、自宅での検温をして作業責任者に報告すると共に、現地で再検温を行う。
- ② マスク、手袋を着用すると共に、手の消毒徹底を図る。
- ③ 共通して利用する機器材は事前に消毒を行う。
- ④ 作業する場合は出来る限り距離を取るが、隣接しての作業は大きな声を出さない。
- ⑤ 感染防止を率先実行する立場から、大会当日までの外食・人が多く集まる場所への立ち入りを避けると共に、健康管理に努める。
- ⑥ 運営参加にあたっては、感染予防接種を2回以上又はPCR検査で陰性が確認されたことを証するものを提示し、総務責任者の確認を得ること。

2. 大会当日の感染予防対策について

- ① 係員の対応は、1. ①～④の他、臨機に対応する。
- ② 参加者は、受付で、健康調査票の提出、マスク着用の確認（主催者で予備用意）、手の消毒、現地検温を実施する。受付の後、競技エリアに入る。
- ③ 中学生以上の参加者に、2回以上のワクチン接種又はPCR検査で陰性を証するものの提示を出来る限り求め、確認する。
- ④ 現地検温で37.5度以上、提出された健康調査票等で感染の恐れがある場合は参加を断ることとする。
- ⑤ 受付・参加費徴収・集計等を行うエリアと参加者との間に飛沫飛散防止（ビニール等）を設置する。
- ⑥ 受付、検温、筆記等で利用する用具はその都度で消毒する。
- ⑦ 参加者が競技に利用するコンパス（方位磁石）、地図（袋入れ）、ICチップは、事前に消毒したもの以外渡さず、ゴール後回収したものは必ず消毒をすること。
- ⑧ 競技中も、個人、グループに関わらずマスク着用を義務付ける。
- ⑨ グループ内での行動では、大声を出さないよう事前の注意喚起をする。
- ⑩ 本部近隣のトイレにも消毒液を設置する。

3. その他の感染予防のための措置

- ① スタート前の参加者参集・競技終了後の休憩エリアでは、個人、グルー間の間隔を十分とるよう促す。
- ② 蜜や空気滞留を避けるために、着替え用テントは設置しない。
- ③ スタート時間は事前に設定し参加者に通知し、密にならないようにする。
- ④ スタート枠の間隔は、1分前、2分前、3分前共に前後3m、クラス枠の幅は2m以上取ることとする。
- ⑤ 人の蜜を避けるため、開会式・表彰式・閉会式とも実施せず、参加者は指定された時間に順次スタートし、競技終了と共に流れ解散とする。
- ⑥ 成績発表は、群馬県オリエンテーリング協会及び高崎観光協会WEBページ、オリエンテーリングラップセンターにより各自確認する。
- ⑦ 各クラス1～3位まで入賞した者には、後日郵送にて表彰状を郵送する。
- ⑧ その他、現地の状況により感染防止策を随時実施する。